

令和7年度 単元評価計画

教科	技術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み	4	①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう	・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・水産生物を安定的に供給する	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	★主体的に生物育成の技術について考えようとしている。
2編2章 生物育成の技術による問題解決	4	①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善・修正	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。(知)	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・育成する作物に適した環境条件について考えている。(思) ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。(思) ・育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思)	★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ★自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
2編3章 社会の発展と生物育成の技術	2	①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術	・生物育成の技術の概念について理解している。(知)	・生物育成の技術の最適化について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思)	★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。(態)

令和7年度 単元評価計画

3編1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	19	①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。(知) ・発電の仕組みと特徴について理解している。(知) ・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。(知) ・電気回路の仕組みについて理解している。(知) ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。(知) ・電気機器の安全な使い方について理解している。(知) ・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。(知)	・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。(思) ・送電・配電の技術の工夫について考えている。(思) ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。(思) ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思)	★主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。(態)
3編2章 エネルギー変換の技術による問題解決	4	①問題を発見し、課題を設定しよう ②電気回路を設計・製作しよう ③機構モデルを設計・製作しよう ④問題解決の評価、改善・修正	・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知) ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知)	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思) ・製作の過程や問題解決の結果	★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用
3編3章 社会の発展とエネルギー変換の技術	2	①エネルギー変換の技術の最適化 ②これからのエネルギー変換の技術	・エネルギー変換の技術の概念について理解している。(知)	・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思)	★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。(態)